



こくろうよなご

第22号
2024年7月10日
発行責任者 倉下文明
編集 教宣部

つくろう職場に労働運動を！ ひろげよう闘いを 職場に、地域に、全国に！

全ての組合員が繋がろう！

登録100%を目指して！

組合員数の減少により、機関紙等による情報共有の困難さへの対応として、また、地本・エリア本部を超えて職場状況や取り組みについて学びあう事を目的に、国労本部が情報発信アプリ「ツナグ」を導入し、間もなく半年になろうとしています。本部オルグなども経

実施ありきに異議あり！！

各系統で効率化施策が進み、離職が増える一方で、社会人採用の方が随時配属されるなど、人の出入りが頻繁に行われています。その中で、職場はどう変化して来たか、工務職場で働く仲間から報告を頂きました。

工務職場では、昨年7月に2名(倉吉1名・鳥取1名)の社会人採用があり、駅においてもほぼ同じ時期に2、3名の配属がありました。また、10月にも1名工務に配属されました。

駅などでは、乗車券の知識の習得など数ヶ月で何とかやれていると言われているが、工務職場ではそうはいかず、人が増えても「教育などで返って忙しくなった」などの声

にかけ東京で開催される「第93回定期全国大会」までに、本部目標の80%以上に留まらず、全組合員の登録終了を目指し、各機関における集中した取り組みを要請します。

「線形(地理的な事や構造物名・キロ程等)」が分からなければ話についてこれず、線形を覚えるのに最低でも2年近くかかります。教育しようにも、社会人採用であるため、若手社員よりも年齢的に上なことも多く「やりづ

島根原発再稼働を許すな！

6月15日、松江市自治労会館にて、フォーラム「平和・人権・環境」しまねの第25回総会が開催されました。反戦・平和・反核・人権・脱原発・環境問題等の諸課題に対する大衆運動との連携、そして、地区フォーラム(雲南・浜田・益田)における総括を持ち寄りなど討議がされました。

沖縄レポート 沖縄の現状を語る！



6月23日、沖縄は「慰霊の日」を迎えました。太平洋戦争末期、本土防衛の為に「捨て石」とされ、日本で唯一地上戦となった沖縄戦では、日米合わせて20万人が亡くなり、沖縄県民の4人に一人が犠牲になったと言われています。戦後も長い間、米国の占領下におかれ、日本復帰後も在日米軍の7割が滞在、今も米軍による性加害など犯罪が後を絶ちません。戦中・戦後の沖縄のあゆみ、そして、沖縄県民の声を踏みにじり強行される辺野古新基地建設の現状に無関心であることは許されません。表記労働講座を下記の内容で、開催します。多くの組合員の参加をお願いします。

日時 8月24日(土) 10時～
場所 米子市文化ホール
講師 沖縄平和運動センター 岸本 喬 氏

編集後記

先日、「関心領域」という映画を見た。第2次世界大戦下におけるアウシュビッツ収容所の所長家族の、まさにユダヤ人の虐殺が行われていた現場と同じ敷地内での裕福な暮らしが淡々と描かれていた。何かの結末があった訳でもなかったが、いろいろな悲劇は、まさに始まるかもしれないと考えるさせられた。仕事に追われ、日々職場で起きていない事が見えなくなっている事、関心を寄せなくなっている事、



「この後、2023年度活動報告・2024年度運動方針・予算を全会一致で承認し、再選された内田代表の「団結がんばろう」で総会を終えてきました。ここにも配備・配置させてはならない」と訴えられました。